1月の日程 アンケート実施中
春に向け 大幅な待遇改善を目指して

J-WING
日本航空ユニオン宣伝ニュース
No 266(16−04)
2024年12月25日
Tel:03-5756-8690 URL http://www.jlu.co.jp e-mail honbu@jlu.co.jp

日付	1月の取り組み
1	
2	
3	
4	
5	
6	フェニックスビラ7:30～8:30
7	PM 中央執行委員会
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	PM 中央執行委員会
15	

25春闘要求アンケートは1／16整備安全アンケートは1月末まで

日付	1月の取り組み
16	
17	中央執行委員会＆支部代表者会議
18	
19	
20	CSZ 労協 15:00～1600 KLM オランダ航空契約客乗雇止撤回第１・２・４陣裁判「結審」11:00～
21	PM 中央執行委員会
22	
23	PM 中央執行委員会
24	
25	
26	
27	
28	PM 中央執行委員会 JCA(JJP 客乗・乗員組合)休憩問題裁判「証人尋問」13:10～東京地裁
29	
30	
31	

春闘アンケート締め切りは１月16日　間に合うように回答を

年末年始輸送安全総点検説明会

12 月 9 日、年末年始輸送安全総点検の説明会が M1 ビルで開催されました。会社側は立花安全推進本部長以下安推メンバーに加えて、整備本部の橋本業務部長や人財戦略部から計15名が出席、組合側は委員長、書記長が所用により不在のため、森副委員長以下5名で対応しました。

一拍置こう、声をかけよう ～一拍と声かけはプロの技～

【お願い】

- 一人ひとりがプロとして立ち止まるべき場面とはどのような場面なのか勘所をもって一呼吸おいてほしい。
- 何が危険なのか具体的に、内容を声に出してきちんと伝えて、仲間を守ってほしい。
- 仲間がどこに気を付けようとしているのか、また、アサーションにより不具合を防いだ好事例を紹介する。仲間を知り、アサーション力を磨く参考にしてほしい。

この取り組みが難しいというのはわかっているが、全然できないではなく、前向きに少しずつやってもらうことで前進できる。やってくれてありがとう。それに加えて少しという話をしてほしい。何が障害なのか、ハザードを考えてもらって、どうしたらできるのかというのを考えてほしい。 **安推**

JLU コミュニケーション不足は JAL にとっては昔からの課題だ

まず、信念を持っていろいろトライ&エラーをしてほしい。コックピットではステップ 1 が inquiry(質問)でステップ 2 が assertion(アサーション:声かけ)だった。 **安推**

JLU アルコール検査について今年の報告事案は？
また、相談窓口の利用件数はどうなのか？

整備について、報告は皆無である。窓口の利用実績は秘匿性があって言えない。アルコール依存というよりも、健康面やその人の人生のことを考えて相談に応じている。 **安推**

※12/10 発行の Corporate Safety(不適切事案)についての説明は全くありませんでした。

HMZ 説明会でも様々な申し入れ

12 月 18 日、羽田航空機整備センター(HMZ)と JLU 羽田支部との間で労使協議会がありました。交渉の抜粋と、組合の要望や主張を紹介します。

組合 予測整備のタイヤの交換率が未達。予測がどう狂ったのかを聞きたい。
会社 「予想より先に減ってしまいました」という結果。目標の 90%に近い結果にはなっているが、ブリジストンさんも自社のタイヤだけでなく他のメーカーのタイヤも予測してくれているので、他社の予測精度がまだ低い。

組合 まだ使えそうなタイヤも交換していることもある。特に A350 は在庫が厳しい、現場を見てもっと在庫自体を増やすことも考えてほしい。

組合 M1 の工事が始まって、ラインの方が全員 M2 に行くが、どうしても動線が悪い。着替え、ランパス、ヘルメット、無線機それぞれがバラバラだ。
会社 ヘルメット置き場については考える。ランパスはセキュリティの観点から施錠できるところに置く必要があるが、何かフォローできないか確認したい。

組合 HLX から HLI に 4 名支援に出している。そうすると国内のバックアップ要因が少なくなって忙しくなってしまう。インターの HAT、フリート業務の人も再雇用で契約が切れる方も出てくると思う。インターはインターでそういう業務を担当する人を養成してほしい。
会社 HLX は、一見国内線の仕事をするところだと感じられるけれど、そもそも HLX というのは国内・国際とはどこにも謳われていない。技術室というミッションを持たせている。フリートのスキル不足と、シニアが引退したらどうするのかというのは良いアドバイスを受けたと思って、よりよくしていきたい。

組合からの申し入れ

- ■施設設備のグループの方の窓口も間接も人が足りない。
- ■国際線では CST が入力作業とかのサポートをしてくれているが、技術的な支援ができるような体制にしてもらえると助かる。それと AFRS の資格者だけの課を作ってもいいと思う。
- ■直近ではショットピーニングの件があったが、DX を活用し、訓練が終わった瞬間に発令されるようにならないのか。
- ■計画部門と施設設備の連携をよくして、作業に必要なツールが用意されるようにして現場の負担を減らしてほしい。
- ■ラインの国際線の方がすごく狭い。どこか空いているところに、建物を建てて器材庫や部品庫にすることはできないか。
- ■支店に滞留している数は？帰りたい人は早く帰してほしい。